

コロナウイルスに立ち向かい核兵器のない公正な世界を

5月15日(金) 国民平和行進宣伝カーは
紀美野町を午後5時過ぎに走りました。



紀美野町町長室 左から海南・海草原水協の
吉本さん、中谷さん、寺本町長、岩橋さん。

2020年核小機禁止



モニュメント



5月15日(金)曇りです。平和行進宣伝カーは、紀美野町庁舎を訪れました。
今年4月7日には、非核の政府を求める和歌山県民の会、核戦争防止和歌山県民の会、
県原水協の3団体で「核兵器禁止条約に賛同し署名するよう」政府に意見書を提出して
下さいと要請を行いました。要請書は、受け取って頂いて議会で審議して頂く事になっ
ています。

午後4時過、地元海南・海草原水協の中谷さん(海草新婦人)、吉本さん(県新婦人)、
岩橋さん(海草教組)と合流し、皆で宣伝カーのデコレーションを準備。4時半に町長
室を訪問。寺本光嘉町長が私たちを待っていてくれました。ペナントと協賛金を、町長
本人から地元の中谷さんにお渡し頂きました。その後、短時間、町長と懇談する事がで
きました。紀美野町では「コロナ対策」として、マスク50枚、現金1万円、地元で使
える5千円の商品券を町民へ配布したそうです。小学生の子供たちには、オンライン授
業をおこなうため、タブレットの用意をしているとの事。短い時間でしたが地方自治体
の役割を実感することができました。寺本町長には、平和行進の出発集会で挨拶と庁舎
内行進を歩いていただいています。「ヒバクシャ国際署名」役職署名も16年5月31
日にサイン頂きました。最後に、総務課を訪ねて今年も「被爆者募金箱」の設置をお願
いしました。平和行進宣伝カーは、非核自治体のモニュメントと役員3人に送り出し頂
き、町内へと走り出しました。明日は、有田市を宣伝カーで走ります。県原水協事務局